



本物のシアター体験には、シェアNo.1AVセンターを さらに進化した新シリーズが、待望のシルバーデザインで登場

TX-SA507/TX-SA607

オンキヨーのAVセンターは、2007年に世界に先駆けてブルーレイソフトに収録されるHDサラウンド音声に対応しました。以来その表現力は高く評価され、海外モデルはヨーロッパで高い権威を誇る「EISAアワード」や英国の有力誌「WHAT HI-FI?」などで数々の賞を獲得しました。国内においても本物志向のシアターファンの支持を得て、2年連続シェアNo.1を達成しております（GfK Japan 2007年～2008年統計データより）。このたび発売するニューAVセンターシリーズは、シアター再生の核になるAVセンターの再現能力を最先端のオーディオ技術を結集してさらに高め、またリビングの上質化が進んでいることから、理想の大画面リビングにふさわしいシルバーデザインへと一新しました。その第一弾となるTX-SA507/TX-SA607は、本格的なシアターライフを提案するエントリークラスとミドルクラスの最新モデルです。ハイエンドモデルで培われた技術手法を駆使し、新設計の「オーバルシャーシ」などHDサラウンドのクオリティを高めるテクノロジーを惜しみなく投入。本物のシアター体験をより多くのシアターファンへ提案するハイパフォーマンスモデルを開発しました。

IMAGINATIVE SIGHT & SOUND **ONKYO**®

プレスお問合せ先 オンキヨー株式会社 営業管理部 山本誓一 TEL.072-831-8005
写真画像はこちらから www.jp.onkyo.com/onkyo/ の「New Products」より当製品をクリックください
掲載時のお客様お問合せ先 オンキヨーコールセンター TEL.050-3161-9555



TX-SA507

AVセンター

¥63,000(税込) 4月24日発売予定

- フルHD(1080p)、ブルーレイディスクの最新音声・映像規格まで対応する「HDMI ver.1.3a」をクラス初搭載(当社比)
- 音質最優先のパーツとレイアウトが選択できる「ディスクリット構成アンプ」を採用
- 底面には楕円状のプレスラインを設けた新設計「オーバルシャーシ」を採用。強度を高め、振動によるノイズ発生を抑制
- 主要メーカーのハイビジョンTVとシステム連動する「RI HD」機能。リンク設定を自動で行える自動検出設定にも対応
- 付属の測定用マイクを使用して自動でスピーカー設定を行える「Audyssey 2EQ」機能を装備
- TV番組途中のCM放送時などに生じる音量差を自動的に緩和する「Audyssey Dynamic Volume」機能を搭載
- 前方のスピーカーだけでもバーチャルサラウンド音場が楽しめる「DTS Surround Sensation」&「Theater-Dimensional」
- 音声信号経路を最短化してピュアな音質を実現する「Pure Audioモード」を搭載

アンプチャンネル数

5チャンネル

定格出力

各チャンネル100W(6Ω、20Hz～20kHz、THD0.08%以下、1ch駆動時)

実用最大出力

各チャンネル160W(6Ω、1kHz、1ch駆動時)

周波数特性

5Hz～100kHz(ダイレクトモード)

HDMI端子

入力:4 出力:1

映像入出力端子

入力:D4 2、コンポーネント2、コンポジット4 出力:D4 1、コンポーネント1、コンポジット2

音声入出力端子

入力:デジタル4、アナログ7 出力:アナログ2、サラウンドバックプリ2、サブウーファープリ1

最大外形寸法

435(幅)×151.5(高さ)×329(奥行)mm

質量

9.5kg

付属品

プリプログラム対応リモコン



TX-SA607

AVセンター

¥84,000(税込) 4月24日発売予定

- フルHD(1080p)、ブルーレイディスクの最新音声・映像規格まで対応する「HDMI ver.1.3a」
- 従来の水平方向の表現に加え、垂直方向も含む三次元的な空間表現が可能に。最先端「ドルビープロロジックⅡz」
- パーツを吟味し自在に回路設計できる「ディスクリット構成アンプ」、新設計「オーバルシャーシ」など音質技術を結集
- 主要メーカーのハイビジョンTVとシステム連動する「RI HD」機能。リンク設定を自動で行える自動検出設定にも対応
- アナログ入力の映像信号を1080iや720p信号等にしてHDMI端子から出力できる「HDMIビデオアップスケーリング」
- 付属の測定用マイクを使用して自動でスピーカー設定を行える「Audyssey 2EQ」機能を装備
- TV番組途中のCM放送時などに生じる音量差を自動的に緩和する「Audyssey Dynamic Volume」機能を搭載
- 大画面リビングにマッチする、シルバーモデルとブラックモデルの2色をラインアップ

チャンネル数	7チャンネル
定格出力	各チャンネル120W(6Ω、20Hz～20kHz、THD0.08%以下、1ch駆動時)
実用最大出力	各チャンネル185W(6Ω、1kHz、1ch駆動時)
周波数特性	5Hz～100kHz(ダイレクトモード)
HDMI端子	入力:6 出力:1
映像入出力端子	入力:D4 2、コンポーネント2、コンポジット5 出力:D4 1、コンポーネント1、コンポジット2
音声入出力端子	入力:デジタル4、アナログ8 出力:アナログ2、7チャンネルプリ1、サブウーファープリ2
最大外形寸法	435(幅)×176(高さ)×329(奥行)mm
質量	11.8kg
付属品	プリプログラム対応リモコン

主なテクノロジー

ブルーレイディスクの次世代映像を伝送

TX-SA507/SA607に搭載のHDMI ver.1.3aは、フルスペックハイビジョン(1080p)やブルーレイディスクに収録される「36bit ディープカラー」映像まで伝送できます。「36bit ディープカラー」は現行ハイビジョンの色深度「24bit フルカラー」を超える次世代の映像記録方式として注目されています。また、色空間も従来のsRGBを超える「x.v.Color」に対応しています。

またTX-SA607には6系統、TX-SA507には4系統とHDMI入力端子を豊富に搭載していますので、多数の機器を接続してお楽しみいただけます。



エントリー機(TX-SA507)から「HDMI ver.1.3a」にフル対応

ブルーレイディスクの先進HDサラウンドに対応

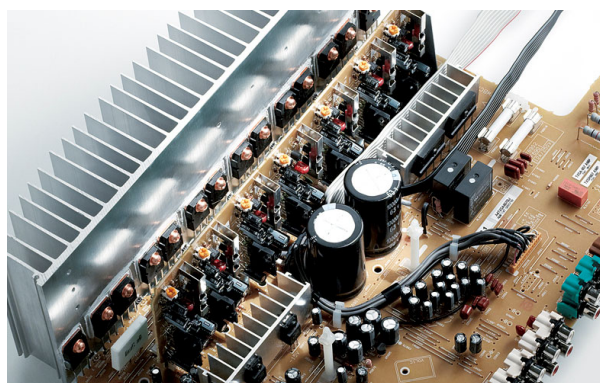
最大でDVDの約10倍もの容量をもつブルーレイディスクには、より情報量の多い高密度な映像や音声データを収録することが可能です。TX-SA507/SA607は最先端の音声規格「Dolby TrueHD」、「DTS-HD Master Audio」に対応したデコーダーを搭載していますので、ブルーレイディスクに収録されたHDサラウンドの音声を存分に楽しんでいただけます。



HDサラウンドのクオリティを高めるハイテクノロジー

AVセンターでは、主にデジタル信号を扱うプリアンプ部と、アナログ信号が主体となるパワーアンプ部という、電氣的に全く性質の異なる回路部で構成されています。そのため、これらの回路間での電氣的・電磁的なノイズ干渉を抑えることができるよう、プリアンプ部とパワーアンプ部を分離してレイアウトしています。パワーアンプ回路は、ICチップに頼らずパーツを吟味して自在に回路設計ができるディスクリット構成を採用。また、十分な電流容量をもつ銅バスプレートを採用して、電源供給効率の向上とアース電位の超安定化を実現しています。さらにTX-SA607では、電源部の電解コンデンサーを中心に7chパワーアンプ回路をL/Rシンメトリーに配置して、電源供給効率の向上をより一層追求しました。

また筐体構造においても、底面の強度を高め、振動の折り返しを分散させるため、楕円状のプレスラインを設けた新設計「オーバルシャーシ」を採用するなど、音質向上のためのテクノロジーを細部にまで投入しています。



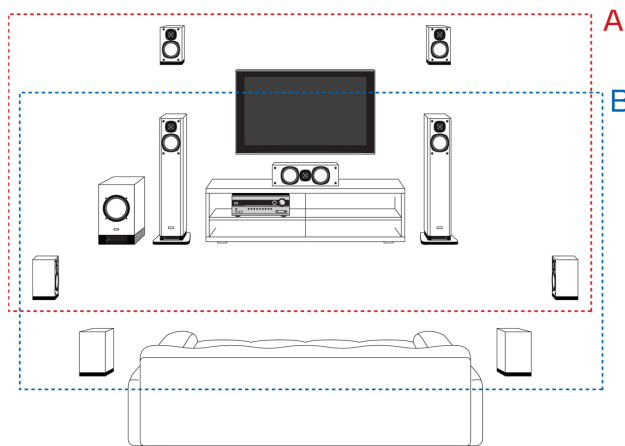
TX-SA607のパワーアンプ回路



主なテクノロジー

最先端「ドルビープロロジックⅡz」(TX-SA607)

世界に先駆けてHDサラウンド規格への対応を果たしたオンキヨーが、今度はフロントハイスピーカーを加えた最新フォーマット「ドルビープロロジックⅡz」に挑みました。フロントL/Rスピーカーの上部に設置するフロントハイスピーカーを加えることで、これまでのサラウンドシステムの水平方向の表現に加え、垂直方向も含む三次元的な空間表現が可能になりました。後方での音像の動きに比べ、前方での音像の動きに対して、人間はより敏感であるという事実からも、フロントに高さ方向のスピーカーを配置することが理想的であるといえます。また、お部屋のレイアウトの都合などで、サラウンドバックスピーカーを設置できない場合でも、ドルビープロロジックⅡzならフロントハイスピーカーを追加して、よりドラマチックで新しい7.1ch環境を構築することができます。TX-SA607は7chパワーアンプと9chスピーカー出力端子を装備していますので、フロントハイとサラウンドバックの両方のスピーカーを同時に接続した状態でも、右図のAまたはBのようにどちらかに切り換えて7.1ch再生がお楽しみいただけます。



DOLBY.
PRO LOGIC IIz

ハイビジョンTVとシステム連動、「RI HD」機能

最先端のインターフェースであるHDMI端子を活用した「RI HD」機能を搭載し、ハイビジョンTVなどとのシステム連動を実現。電源スタンバイ連動や自動入力切換え、TVのリモコンによる本機のボリューム調整とテレビスピーカー/シアタースピーカーの再生切換えが働きます。また東芝製レグザリンク対応テレビ「レグザ」との組み合わせでは、独自のコントロールコマンドによりHDMI入力拡張切換への操作も可能です。また新たに、対応機器との接続確認とリンクの設定を自動で行える「RIHD自動検出設定」が備わりました。



連動動作する他社対応機種

●パナソニック製ビエラリンク対応テレビ「ビエラ」およびDVDレコーダー「ディーガ」、東芝製レグザリンク対応テレビ「レグザ」、シャープ製AQUOSファミリンク対応の液晶テレビ「アクオス」(2008年4月以降の機種)との接続による連動動作

TX-SA607はシルバーとブラックの2色をラインアップ

TX-SA607には、シルバーモデルとブラックモデルの2色をラインアップ。現代のリビングにふさわしい質感を、インテリアや好みに合わせてお選びいただけます。



TX-SA607 ブラックモデル

商標について ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。“Dolby”、“ドルビー”、“Pro Logic”およびダブルD 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。DTS はDTS 社の登録商標です。また、DTS ロゴ、記号、およびDTS-HD Master Audio ,DTS Surround Sensation はDTS 社の商標です。x.v.Color は、ソニー株式会社の商標です。レグザリンク、レグザは株式会社東芝の商標です。AQUOSファミリンクは、シャープ株式会社の登録商標です。その他の名称については、一般に各開発メーカーの商標または登録商標です。その他の名称については、一般に各開発メーカーの商標または登録商標です。